

図書紹介

「病態と症状でみる脳の画像診断 —患者さんに対応できる・治療がわかる—」

メディカ出版 2006.10

定価 3000円

著者 土肥 守 (NHO 釜石病院 院長)



脳神経外科を始めとする脳疾患関連の病棟や外来・救急外来では、画像診断を契機として治療方針や治療方法などが決定されたり変更されたりすることが多くあります。それに伴い多くの業務が発生したり、すでに出された指示が変更になったりしますが、その決定の意味や変更の背景などを把握していないと、効率が悪くなったり、間違えて医療事故の元になったり、物品を無駄遣いしてしまったりすることになります。そうならないためには、ドクターが画像を説明する時のキーワードを聞き漏らさないように、どんなキーワードが次のどんな事態を意味するのかを予習しておくの良いと思われます。

この本は、このようなコンセプトで雑誌「ブレインナーシング」に平成17年5月から「やさしく解説！画像診断」として連載し、単行本としてまとめたものです。画像診断が苦手だと思われる方も、この本を読むと明日からの業務が自信を持って出来るようになるのではないのでしょうか。

本の構成

はじめに、画像診断のコツ、

パート1—病態別編（脳浮腫・脳ヘルニア・水頭症）、

パート2—疾患別編（脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血・脳血管攣縮・脳動静脈奇形・外傷性頭蓋内出血・慢性硬膜下血腫・良性脳腫瘍・下垂体腺腫・悪性脳腫瘍・脳膿瘍・認知症）

パート3—患者さんの訴え編（頭痛・めまい）

図書紹介

原稿募集

このコーナーへの投稿をお待ちしております。ご執筆された著書などの紹介を掲載しています。600～1,000字程度で編集室までお寄せください。

〒152-8902 目黒区東が丘2-5-1

国立医療学会誌「医療」編集室「図書紹介コーナー」係宛

e-mail: iryo@kankakuki.go.jp

Fax: 03-3411-9421